

平成 30 年度

自己評価・学校関係者評価 報告書



九州龍谷短期大学付属龍谷こども園

平成30年度龍谷こども園自己評価(職員対象)集計結果 評価の段階 ①とてもそう思う②ややそう思う③あまりそう思わない④そう思わない⑤わからない⑥無回答

	評価項目	評価内容	評価の段階(%)						評価結果(①+②)	総合評価
			①	②	③	④	⑤	⑥		
1	意欲	園の運営方針を理解し、園児のために意欲的に教育・保育活動に取り組んでいる。	31	64	5	0	0	0	95	A
2	研究・研修	指導法や幼児理解について、園内外での研究や研修に積極的に参加するなど、保育者としての資質向上に努めている。	8	53	28	0	8	3	61	C
3	組織力	教育課題や問題等について、園全体や学年でよく話し合っている。	19	64	17	0	0	0	83	A
4	安全・環境	施設・設備の安全に定期的に点検するとともに、園庭やホール、保育室の清掃、整理・整頓等の環境整備に配慮している。	14	67	16	3	0	0	81	A
5	指導の工夫・改善	園児の主体的な活動や豊かな体験ができるように、環境構成や指導の工夫・改善を行っている。	11	81	8	0	0	0	92	A
6	宗教的情操の教育	仏さまのお参りや保育実践を通して、いのちの大切さや感謝する気持ちを育むよう努めている。	42	55	3	0	0	0	97	A
7	生活習慣指導	挨拶をする、きまりを守るなど、基本的な生活習慣が身に付くよう、学年や園で組織的に取り組んでいる。	39	58	3	0	0	0	97	A
8	信頼性・連携	園児が安心して自分らしさを発揮したり、保護者が気軽に相談したりできるような信頼関係を作っている。	17	83	0	0	0	0	100	A
9	情報の提供	保護者面談会や保育参観行事、ホームページやお便りなどを通して、園での子どもの様子を保護者に伝える努力をしている。	14	61	22	0	3	0	75	B
10	地域・社会とのかかわり	友だちや地域の人々など、身近な人との触れ合いを深め、親しみが持てるように指導している。	8	53	36	0	0	3	61	C
11	食育の推進	園児が「食」を通して、食事を楽しむとともに、望ましい食習慣を身に付けるように、家庭と連携を図りながら指導している。	3	55	28	14	0	0	58	D
12	幼小の接続	年長では、小学校生活に憧れや期待を持たせる機会を設け、小学校生活や学習の基礎となる内容を活動に取り入れている。	43	57	0	0	0	0	100	A

※評価の基準 A:①・②の合計が80%以上 B:①・②の合計が70%以上80%未満 C:①・②の合計が60%以上70%未満 D:①・②の合計が60%未満

平成 30 年度龍谷こども園自己評価(保護者対象)集計結果 評価の段階 ①とてもそう思う②ややそう思う③あまりそう思わない④そう思わない⑤わからない⑥無回答

NO	評価項目	評価内容	評価の段階(%)						評価結果(①+②)	総合評価
			①	②	③	④	⑤	⑥		
1	意欲	教職員は、園児のために意欲的に教育・保育活動に取り組んでいる。	72	22	1	0	3	1	94	A
2	研究・研修	教職員は、教育・保育に関する研修を積極的に行っている。	43	27	5	2	21	2	70	B
3	組織力	園は、園児一人ひとりの指導や支援等について組織的に対応している。	49	34	6	3	6	2	83	A
4	安全・環境	園は、施設・設備の安全に留意するとともに、保育室等の清掃、整理等の環境整備を行っている。	51	35	5	6	2	0	86	A
5	指導の工夫・改善	園は、園児一人ひとりが興味・関心に応じた遊びができるよう、環境構成の工夫をし、様々な体験をさせている。	55	36	3	2	3	0	91	A
6	宗教的情操の教育	教職員は、仏さまのお参りや保育実践を通して、いのちの大切さや感謝する気持ちを育むよう努めている。	70	22	2	1	4	0	92	A
7	生活習慣指導	教職員は、自分のことは自分でする、場に応じた挨拶をする等、基本的生活習慣が身に付くよう関わっている。	56	34	3	2	4	0	90	A
8	信頼性・連携	園は、家庭との連絡等、意志の疎通を図るとともに、保護者がいつでも相談できる体制作りにも努力している。	55	29	9	2	4	1	84	A
9	情報の提供	園は、保護者面談会や保育参観行事、ホームページやお便りなどを通して、園での子どもの様子を保護者に伝える努力をしている。	51	36	8	2	2	0	87	A
10	地域・社会とのかかわり	園は、短大や高校、地域等の諸機関と連携し、園児により良い教育・保育を提供するように努めている。	65	27	1	1	5	0	92	A
11	食育の推進	園は、「食」に対する指導の重要性を認識し、園児が興味・関心をもって、食生活の大切さやマナーを理解し、身に付けるよう指導している。	49	34	5	2	9	1	83	A
12	幼小の接続	園は、年長児が小学校生活に憧れや期待を持つよう指導したり、小学校と交流する機会をつくったりしている。	49	36	4	0	11	0	85	A

※評価の基準 A：①・②の合計が80%以上 B：①・②の合計が70%以上80%未満 C：①・②の合計が60%以上70%未満 D：①・②の合計が60%未満

平成 30 年度 龍谷こども園 評価委員評価結果

各項目について A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

評価項目	評価①	評価②	評価③	評価結果	評価項目	評価①	評価②	評価③	評価結果
1	A	A	A	A	7	A	A	B	A
2	A	B	B	B	8	A	A	A	A
3	A	A	A	A	9	A	B	A	A
4	B	A	A	A	10	A	B	B	B
5	A	A	B	A	11	B	B	B	B
6	A	A	A	A	12	A	A	B	A

評価委員会総合評価

総合評価 A	<p>理由</p> <p>全ての項目ですばらしい取り組みをされていると思います。特に研究に関しては県内だけではなく県外にまで保育のあり方を発信できたことは園の財産となりますし、これを機会にもっと運動あそびの重要性をまわりにお知らせいただくことを期待しております。これからもますますのご発展をお祈りいたします。</p> <p>総体的に職員の自己評価には厳しい視点での評価が多いが、目指す目標はそれだけ高く現状に満足せず前向きな姿勢の表れと見るべきでしょう。対照的に保護者の学園への評価(満足度)にはほとんどの項目で高い評価を受けており、信頼性が裏付けされている。今後も両者の情報交換を密にして意思の疎通を図り、子ども達への育みに結び付けてほしいと思います。</p> <p>先生方にも気軽に相談でき保護者として預けやすい環境が整っている。</p>
----------------------	---

平成 30 年度の自己評価・関係者評価を終えて

- 評価委員の方々からは、総合評価として「A」の評価をいただいた。
- 「研究・研修」に関しては、全国学校体育研究大会の研究園として私立の認定こども園が発表するのは、今回初めてのことで素晴らしい取り組みだったのもっとアピールをして、職員・保護者意識を高め、今後も教育・保育の質の向上に努めていくことが大切である。
- 職員の自己評価が厳しくなっている点に関して、評価委員の方々から、現状に満足せず前向きな姿勢の表れとして見ていただき、保護者の方々の高い評価は園に対する信頼性の裏付けといえると評価していただいた。
- 各々の委員の方から文書や口頭で貴重なご意見を頂き、有意義な関係者評価委員会となった。次年度の取り組みにしっかり活かしていきたい。